



複数農協による広域柑橘選果場の 共同利用について

JAしみず 営農經濟部 柑橘茶振興課
説明者 あけ くら たか ゆき 上倉貴行

概 要

 県内 3 農協所有のかんきつ選果施設を
1 施設へ再編集約させ、
AI選果機やパレット出荷施設を整備
⇒生産者の負担軽減、選果場の労働力不足解消

 AI選果機のデータを
生産者・圃場毎に蓄積・解析して営農指導につなげ、
・高品質果実の生産量向上
・生産性の高い片面交互結実栽培への転換
等の生産面の取組も強化
⇒利用率向上と販売額増加の実現

静岡市清水区は、県内でも**有数のミカン産地**。
主力の**青島温州（青島ミカン）**をはじめ、
多くの**柑橘類**が栽培。

また、
他の県中部地区においても、
青島ミカンをはじめ、多くの**柑橘類**が栽培。



ミカン産地の現状と課題

静岡県の中中部地域の3農協は、老朽化による不具合や調達不可な部品の発生等により、メンテナンス費用の増加や選果機能の低下を招き、選果施設の運営に支障が生じている。

担い手の減少や高齢化に伴い、各選果施設の利用率は低下傾向にあり、**かんきつ産地**の維持・拡大が難しくなっている。

⇒各農協で施設更新を検討も、単独更新は困難

⇒3農協の役職員は、同じ課題を抱えており、悩みを、県経済連が主催する会議などで共有していた

🍊 選果施設の再編集約の概要

3農協がそれぞれ所有する選果施設を1施設に集約し、共同利用することで、**施設運営・選果コストを削減**するとともに、**施設利用率の向上**を図る。

最新のA I 選果機やパレット出荷施設の整備により、**選果作業を軽減**するとともに、**出荷規格とブランドを統一**し、**流通コストの削減と有利販売**につなげる。



※一次集荷場からの横持ち輸送経費：3JAの共通経費として負担

🍊 再編集約・合理化等で期待される効果

- ① A I 選果機の導入に伴う**家庭選果作業の軽減**により、生じる余剰労力を生産管理に振り向けるとともに、農協が推進している**生産性の高い片面交互結実栽培**への転換を図る。

【片面交互結実栽培】



全摘果し翌年の生産に向け枝を増やす遊休面

無摘果で全着果させ多収を目指す生産面

樹勢の強い普通ウンシュウ（青島温州）では、

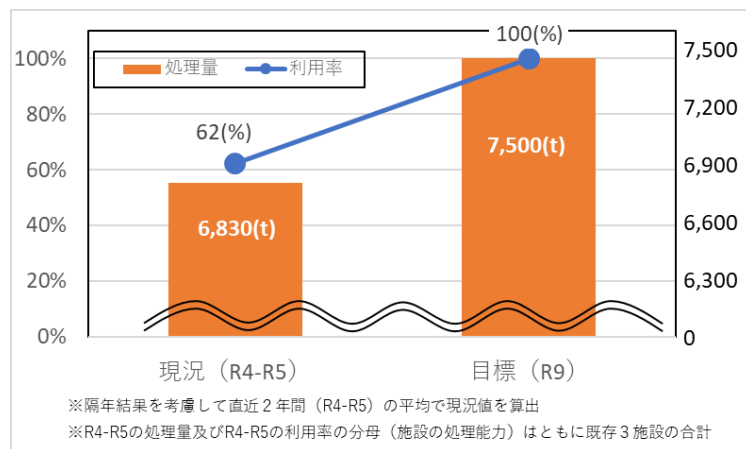
- ・ 双幹形仕立ての側枝の片側を早期に全摘果する遊休面と、
- ・ 無摘果で着果負担をかける生産面

を交互に繰り返す片面交互結実栽培により、高品質果実の安定生産が可能になる。

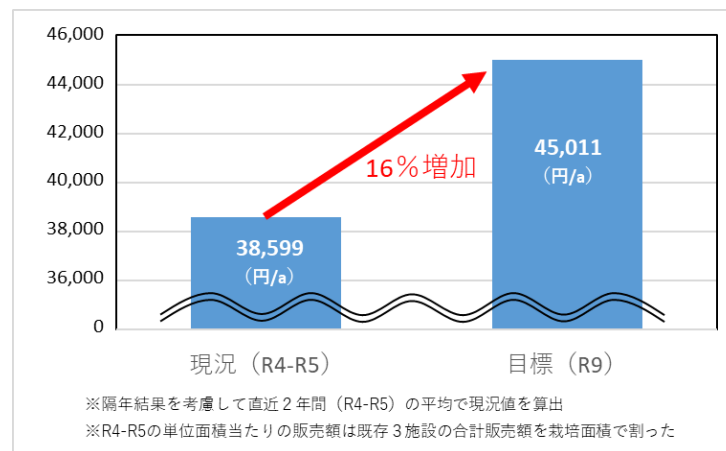
出所：農研機構果樹茶業研究所「省力樹形樹種別栽培事例集（第2版）」P16

- ② また、A I 選果機のパデータを生産者や圃場毎に蓄積・解析することで、果実品質等の**選果データを適切な営農指導**につなげる。

これら①、②の取組を通じて、**かんきつの品質向上**を実現し、**施設の利用率向上**と**販売額の増加**を図る。



【施設の利用率及び処理量 (%、t)】



【単位面積当たりの販売額 (円/a)】

おわりに・他産地へのメッセージ

(複数農協において、共同利用施設を設置し運用に至るためには、)

各農協において組織決定等が必要になるので、

- ・ **実施主体がリーダーシップを発揮**し、
- ・ 経営状況の確認や今後の展望の洗い出し等、数年かけて**計画的に協議**を行った。

選果場の共同利用に関しては、
3農協間で**あらかじめ合意書を取り交わし**、
運営委員会設置や集荷物取扱等の
基本事項について確認した。

⇒その素地として、各農協の役職員は、

 **同じ課題**を抱えていたこと

 **目指すべき産地や施設について同じような方向性**を持っていたこと

 **平素より農協間で情報共有する機会**があったこと

から、農協間連携を円滑に進めることができたのではないかと



左：温州ミカン（青島温州）

右：はるみ

下：不知火（デコポン）